施工説明書

TOTO

台所用シングルレバー混合栓

TKW31P型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

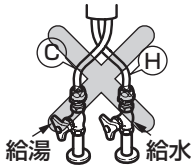
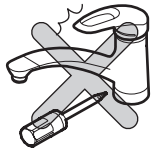
●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	⃠は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

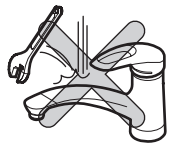
⚠ 警　告

禁　止	**湯水を逆に配管しない** 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。	
	給湯温度は85℃より高温で使用しない 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
分解禁止	**この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない** 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

⚠ 警　告

禁　止	寒冷地用 **水抜コックは水抜き以外の目的で開けない** 水抜コックをいきなり開けると、高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

⚠ 注　意

禁　止	**強い力や衝撃を与えない** 破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
必ず実行	**凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部などに保温材を巻く** **また、寒冷地用の場合は、「9 寒冷地用の水抜き方法」を参照し、凍結予防を確実に行う** 部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

2 仕様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動時)
	最高水圧	0.75MPa(静止時)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1～40℃
	寒冷地用	−20～40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用　　途		一般住宅台所用

3 取り付け前に

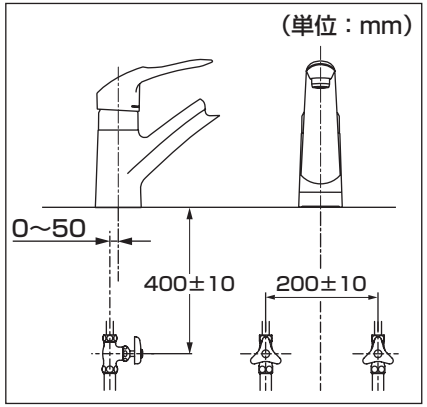
●給水圧力が 0.75MPa を超える場合は、市販の減圧弁で 0.2～0.3MPa 程度に減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2～0.3MPa 程度の圧力をおすすめします。

●誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。

●給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

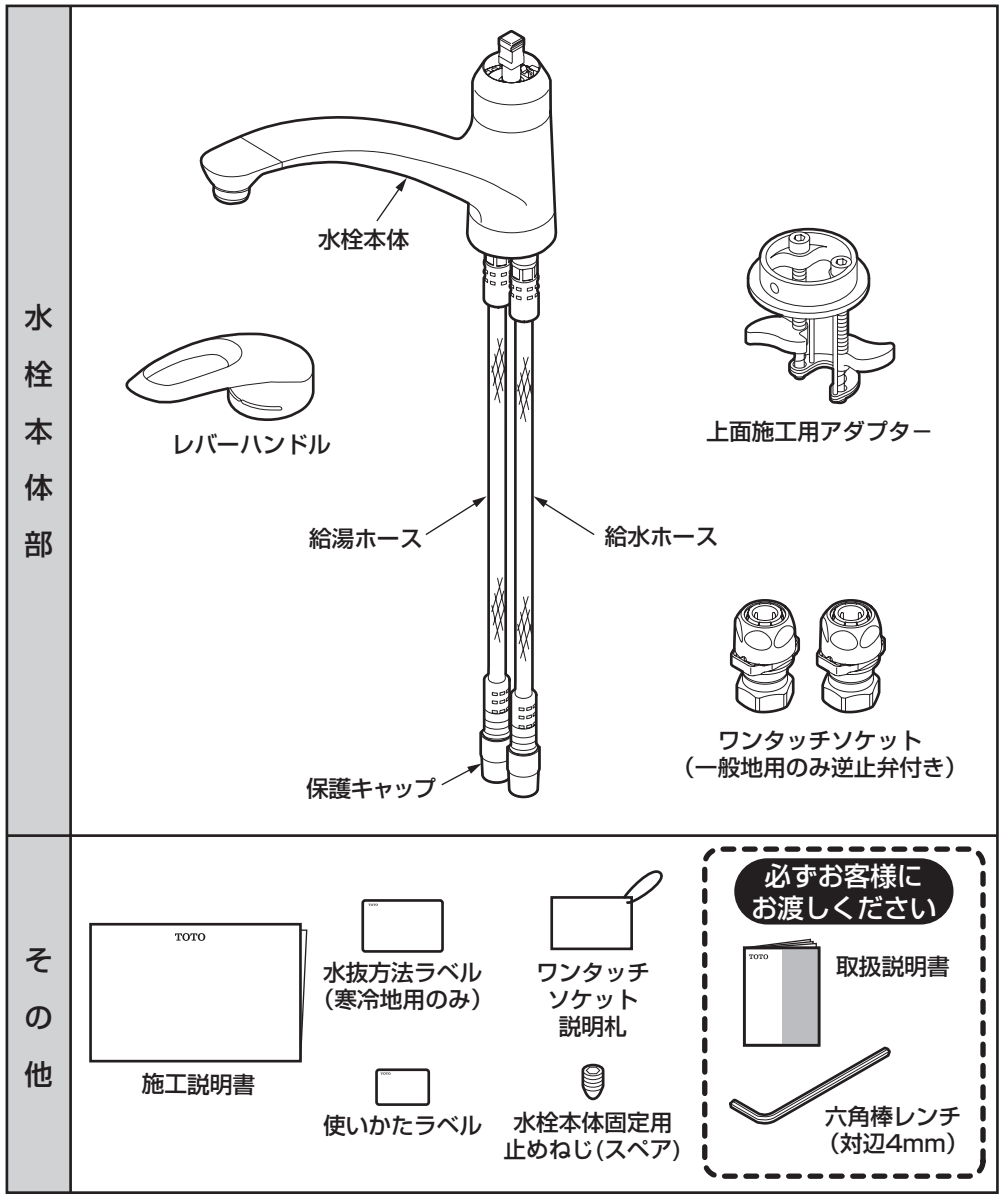
●水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。右図に示す範囲内の止水栓位置が標準施工位置です。

●梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。



4 部品の確認

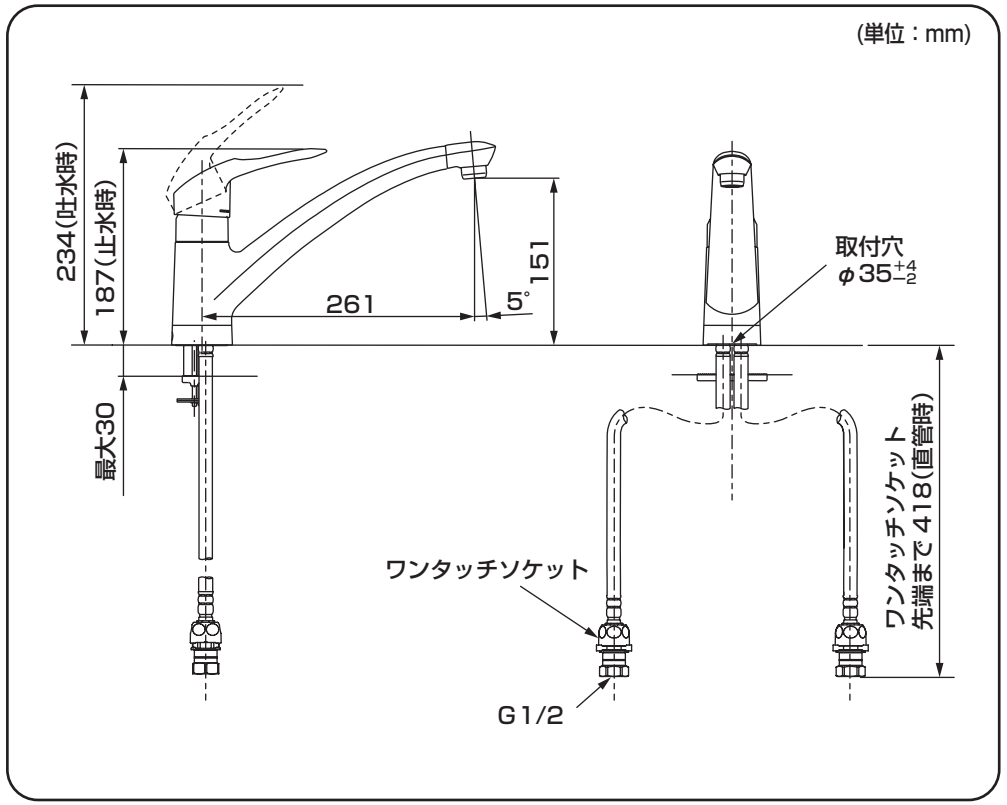
次の部品があることを確認してください。



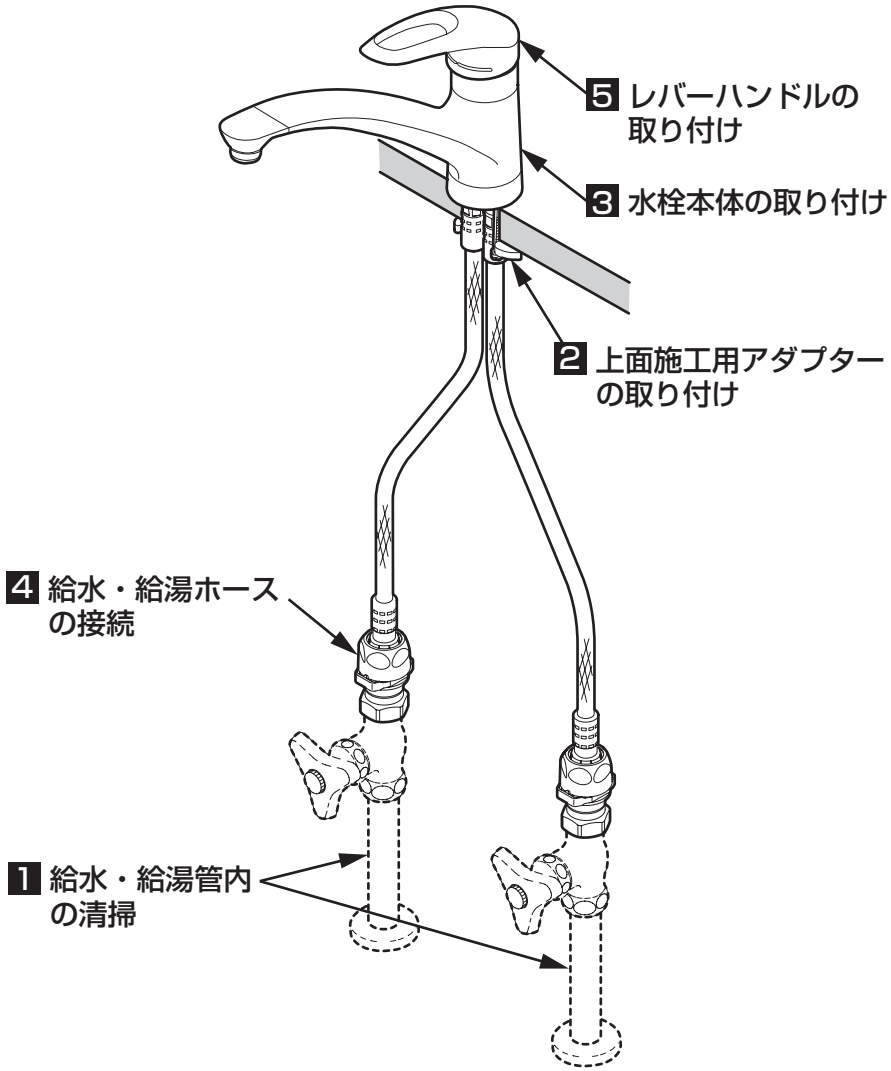
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

5 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



6-1 施工手順



1 給水・給湯管内の清掃

取り付ける前に**必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

重要

6-2 施工手順

2 上面施工用アダプターの取り付け

上面施工用アダプター施工上の注意点

●上面施工用アダプターは、正しく取り付けてください。
カウンター内への水漏れや、水栓本体の固定強度が低下して本体にガタが発生するなど、不具合の原因となります。

●ステンレス製カウンターで補強板がない場合は固めの補強板（合板など）を取り付けてください。

●補強板が十分乾燥した状態で取り付けてください。

●補強板に湿り気がある場合は水気をふき取りドライヤーで乾かしてください。

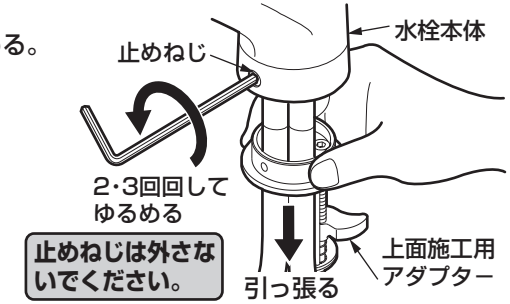
●取付面に養生シートなどがあれば取り除いてください。

●取付可能なカウンター穴径はφ33～φ39です。

●電動ドライバーを使用する場合は、クラッチ作動トルクを2～3.4N・mの範囲に必ず設定してください。
なお、クラッチ回転速度を「低速」にしないでください。
トルクが大きくなり、器具が破損するおそれがあります。

①水栓本体下部の止めねじをゆるめる。

②上面施工用アダプターを外す。

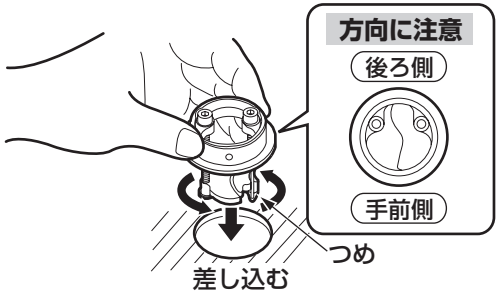


③つめを閉じた状態にする。

④上面施工用アダプターをカウンターの穴に差し込む。

注 意

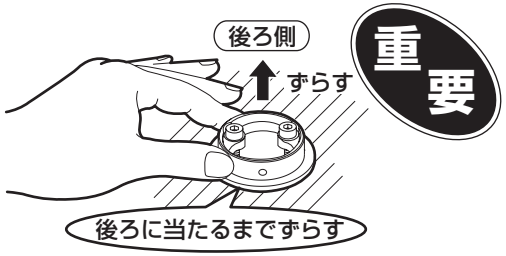
上面施工用アダプターの方向に十分に注意してください。



⑤後ろに当たるまでずらす。

注 意

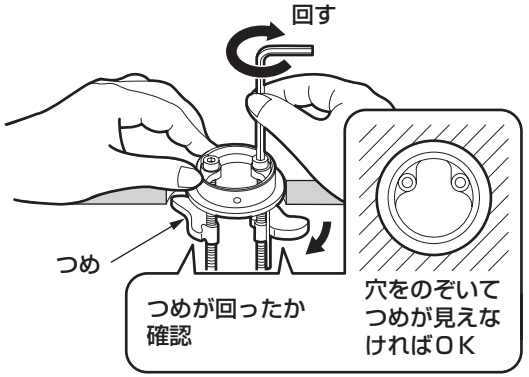
後ろにずらさないと水栓本体のガタツキ発生やカウンター内への水漏れのおそれがあります。



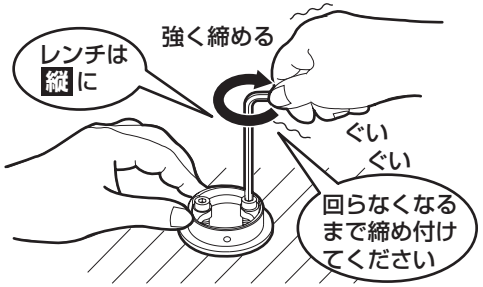
⑥つめを広げる。

注 意

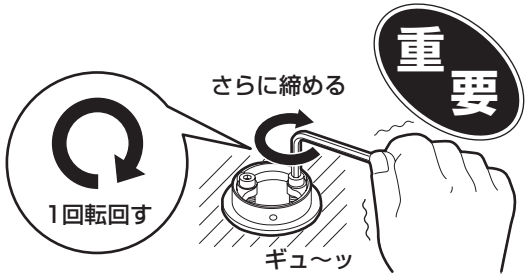
締め付け後は、固定つめが回っていることを確認してください。固定つめが回っていない場合、一度ボルトをゆるめたあと、再度締め直してください。



⑦六角棒レンチを縦にしてボルトを左右均等に締める。



⑧さらに六角棒レンチを横にしてボルトを1回転増し締めして確実に固定する。



裏面へつづく

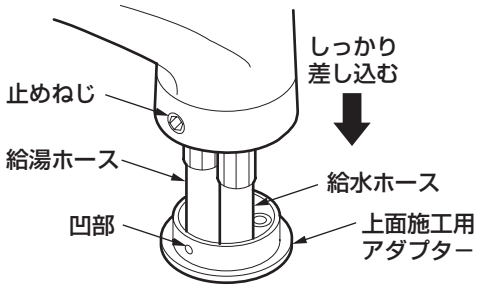
3 水栓本体の取り付け

①給水・給湯ホースを通す。

②水栓本体の止めねじと上面施工用アダプターの凹部をあわせるようにしっかり差し込む。

注 意

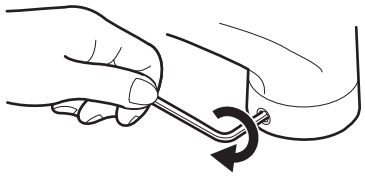
水栓本体に浮きがないよう注意してください。



※水栓が入らない場合には、止めねじを少しゆるめてください。

③水栓本体の止めねじを締めて水栓本体を固定する。

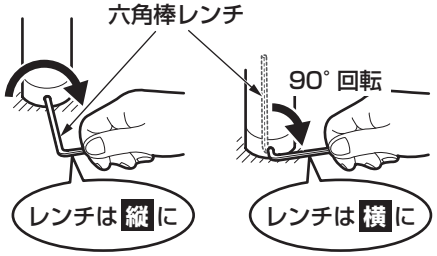
④六角棒レンチの縦方向で、回らなくなるまで締め付ける。



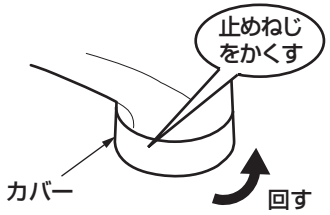
⑤六角棒レンチの横方向で、約90°回して確実に締め付ける。

注 意

80mm以上のレンチを使用しないでください。
(ねじ部が破損するおそれがあります)



⑥カバーを回し、止めねじをかくす。



4 給水・給湯ホースの接続

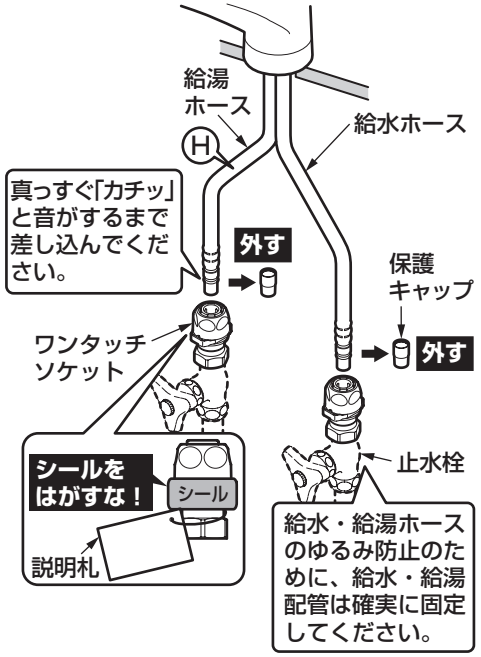
①ワンタッチソケットを止水栓に固定する。

注 意

ワンタッチソケットに貼られたシールをはがさないで取り付けてください。
そのままでもホースを差し込めます。

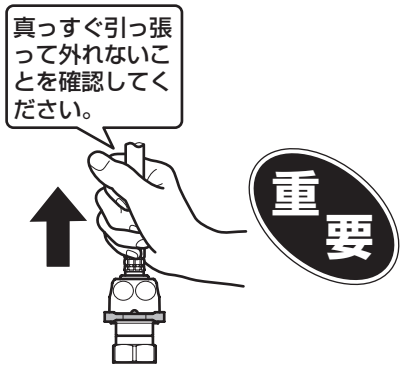
②給水・給湯ホースの保護キャップを取り外して 異物の付着がないことを確認し、ワンタッチソケットに 真っすぐ奥まで (「カチッ」と音がするまで)確実に差し込む。
確実に差し込まれていない場合、水漏れの原因となります。

この際、同梱の「ワンタッチソケット」の説明札を必ずワンタッチソケットまたは止水栓につり下げてください。



③ホースを 真っすぐ引っ張って外れない (抜けない) ことを必ず確認する。

施工後、万一ホースを外した場合は、「ワンタッチソケット」の説明札を確認のうえ、必ずワンタッチソケットとホース内の残水を抜いてからホースを差し込んでください。



6-4

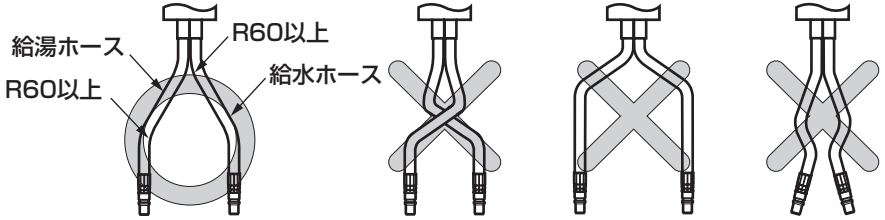
給水・給湯ホース施工上の注意点

●ホースを **必要以上の力で曲げて 折らないように** 注意してください。
ホースの **最小曲げ半径は60mm** です。それよりも小さく曲げて使用すると、ホースが折れ、十分な流量が出ない場合や、破損、水漏れのおそれがあります。

●ホースを **水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないで** ください。

●ホースを **無理に引っ張らないで** ください。ホースが折れる可能性があります。

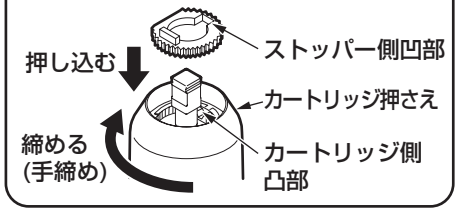
●ホース同士の **不要な接触は避けて** ください。
外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。



5 レバーハンドルの取り付け

①ストッパーの浮きや外れがないか確認する。
※浮きや外れがある場合はカートリッジ側凸部とストッパー側凸部をあわせて押し込んでください。

〈浮きや外れがある場合〉

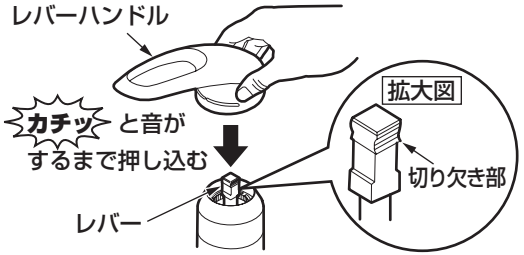


カートリッジ押さえの歯とストッパーの歯が合わないときは、カートリッジ押さえを **締め込む方向** にて歯をあわせるように調整してください。

②レバーハンドルとレバーの方向に注意し、押し込む。
③レバーハンドルが容易に抜けないことを確認する。

注 意

レバーハンドルとレバーの切り欠きとの方向に注意してください。レバーの切り欠きは 両サイド にあります。

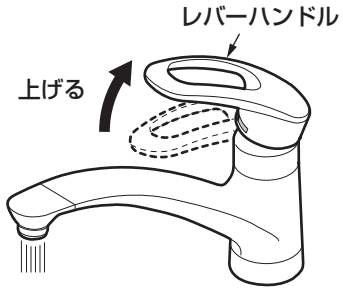


7-1 施工後の調節

1. 水出し確認

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、スパウトから水が出るか確認してください。

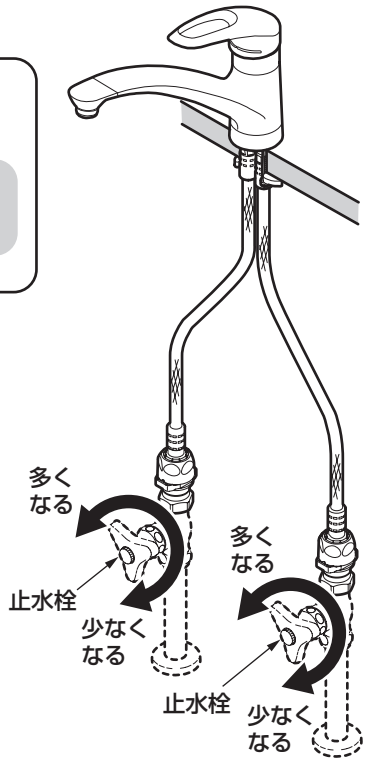
また、ホース接続部やすき間などから水漏れがないことを確認してください。



止水栓による流量調節

配管にある止水栓を回す。

止水栓の調節にマイナスドライバーなどが必要な場合があります。



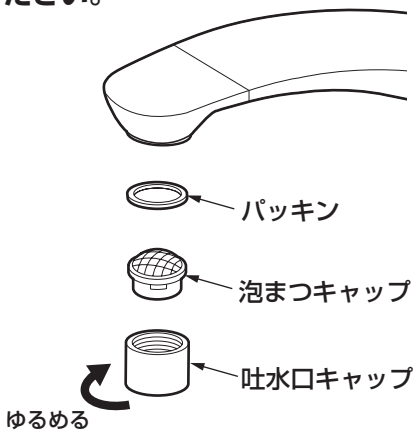
7-2

2. 吐水口の掃除

水出し確認後は必ず吐水口を掃除してください。

吐水口が詰まると流量が少なくなったり、温度調節がうまくできなくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

※吐水口を掃除する際は、必ずレバーハンドルを閉めてから行ってください。
（詳しくは取扱説明書の「日ごろのお手入れ」を参照してください）



8 使用上の注意

ご使用中に以下のような現象が発生することがありますが、故障ではありません。
お客様に十分ご説明ください。

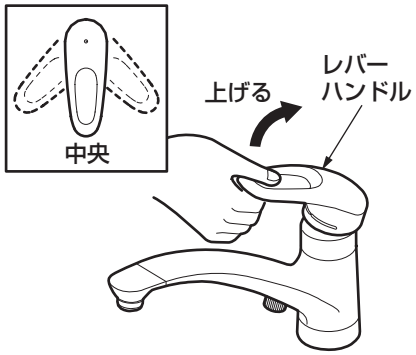
現　　象	説　　明
急に湯・水を止めると、ハンドル操作が重く感じる。	急に水を止めると、「ドン」といった不快な音が発生することがあります。この商品は、急なハンドル操作をしたときに抵抗をもたせることで、この不快な現象を低減させる機構がはたらいているためで、故障ではありません。
使い始めにくらべて、しばらく使用すると、ハンドル操作が重く感じる。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。

9 寒冷地用の水抜き方法

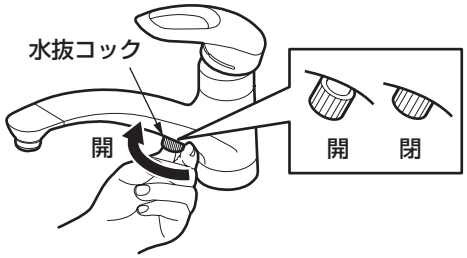
凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。
またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

1. 配管部の水抜栓などにより通水を止めて、水抜きを行う。

2. レバーハンドルを中央位置で上げる。



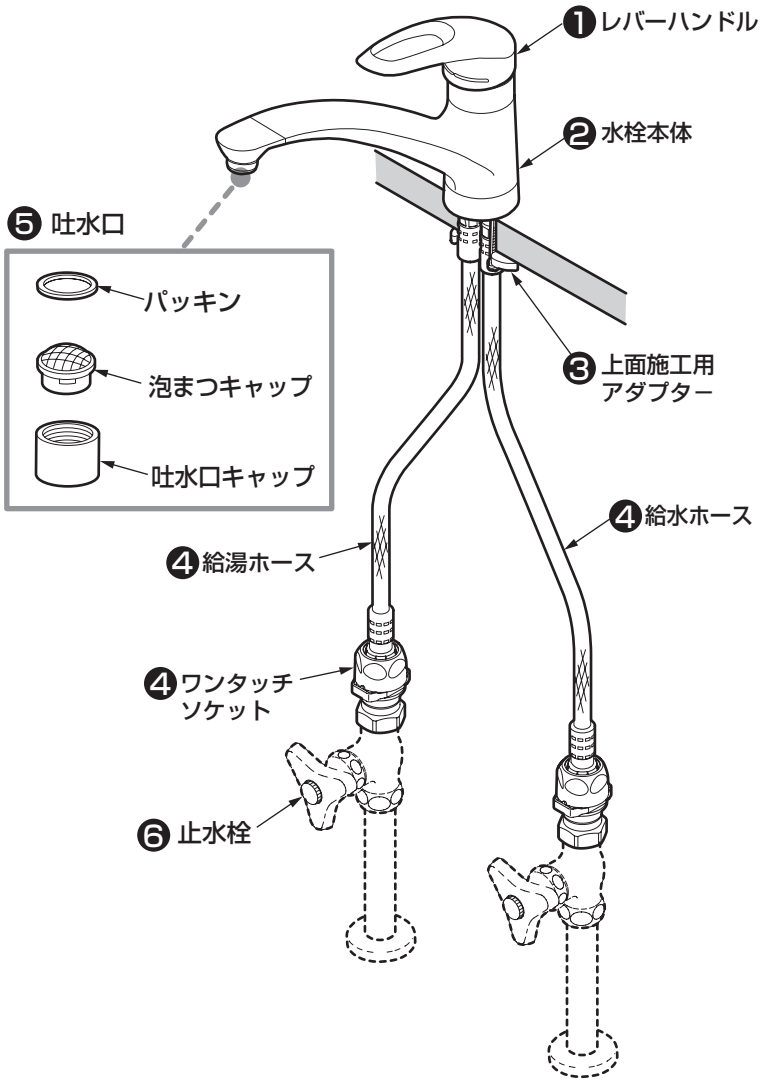
3. 水抜コックを開ける。



4. 水抜き完了後は、必ず水抜コックを閉め、レバーハンドルを下げる。（水が出ない状態）

10 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

❶レバーハンドルはしっかり差し込まれていますか？

6-4 ― 5「レバーハンドルの取り付け」参照

❷水栓本体の止めねじのゆるみはないですか？

6-3 ― 3「水栓本体の取り付け」参照

❸上面施工用アダプターはしっかり固定されていますか？

6-2 ― 2「上面施工用アダプターの取り付け」参照

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

❹給水・給湯ホースはワンタッチソケットにしっかり差し込まれていますか？

6-3 ― 4「給水・給湯ホースの接続」参照

流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

❺吐水口のごみ詰まりはないですか？

7-2 2. 吐水口の掃除 参照

❻止水栓は開いていますか？

7-1 1. 水出し確認 参照

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。